

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	音楽 I	単位数	2 単位	学年・学科・コース	1年・普通科・普通コース、スポーツコース 1年・衛生看護科
使用教科書	高校生の音楽1(教育芸術社)		副教材等	つどい(九州高等学校音楽教育研究会) Music Note(啓隆社)	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。</li> <li>創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。</li> </ul>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p>	<p>音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	校歌・遠征歌	バランスのよい姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方を身につけ、曲想と歌詞との関わり、旋律の特徴、言葉の抑揚を理解し、自己のイメージをもって表現を創意工夫して歌う。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>創意工夫をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</li> <li>音色、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。</li> <li>正しい発声を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	実技テスト 行動観察 ワークシート 小テスト
5	創作 楽典	手拍子やボディーパーカッション、唱歌、打楽器などを用いて音色を工夫したり、リズムパターンを即興で変化させたりして、表現を創意工夫してリズム合奏する。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>曲想と楽器の音色やリズムとの関わりについて理解し、創意工夫して表現している。</li> <li>音色、リズム、テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。</li> <li>音色の工夫やリズムパターンの変化と曲想との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	
6	鑑賞	音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさに気付き、表現する。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。</li> <li>音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。</li> <li>曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
7 8	蒼き故郷 楽典	鼻濁音や、s 音や t 音などの子音の発音について学ぶとともに、歌詞の内容や曲の背景を理解し、強弱などに注意して曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う。	○			・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解し、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	実技テスト 行動観察 ワークシート 小テスト
				○		・音色、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	
					○	・歌詞の内容や曲の背景に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
9 10	ギター	ギターの基本的な奏法を理解し、表現を工夫して演奏する。	○			・曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解し、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。	
				○		・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて意図をもっている。	
					○	・曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	
11 12	クラス合唱	曲にふさわしい発声で表情豊かに歌う。	○			・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解し、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	
				○		・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	
					○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
1	Caro mio ben 楽典	日本や諸外国の歌曲に親しみ、表現を工夫して独唱する。	○			・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解し、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	
				○		・リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	
					○	・イタリア語による歌唱や曲の雰囲気を生かした表現に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
2 3	西洋音楽史 式歌	曲にふさわしい発声で表情豊かに歌う。	○			・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。	
				○		・音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	
					○	・曲の構成や音楽に込められた作曲者の思いに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	